

資料2 新希望が丘学園及び岐阜希望が丘特別支援学校 再整備のポイント

【希望が丘学園再整備のポイント】

- 整形外科・小児科の診察室を1階（現在は2階）に移し、車椅子等を利用する障がい児に配慮 ②
- 2階に発達障がい児のための診察室、検査室、デイケア室、病室などの機能を集積（発達障がい児支援の充実、車椅子等を利用する肢体不自由児や重症心身障がい児との混在解消による安全対策） ③
- 病室の規模を30名から50名以上に拡大、障がいの重度化に対応した医療設備の充実 ④
- 在宅での療育を支える通園、相談、訓練などの機能を1階に集積、訓練室の拡充、相談窓口の充実 ⑤

【第2期計画（H27年度以降）】

新施設への移転完了後、現在の建物を解体。特別支援学校屋内運動場や駐車場等、残りの設備を整備。

岐阜県立岐阜商業高等学校

岐阜県福祉事業団清流園

岐阜県身体障害者更生相談所



【第1期計画（H25～H27年度）】

旧岐阜市立伊奈波中学校の敷地を活用して施設の規模を拡大、機能を充実。

【岐阜希望が丘特別支援学校再整備のポイント】

- 円形ランチルーム（希望が丘広場）の外周にスロープを設置し、1階と2階、病院病棟と学校校舎との連絡・交流の場とする ⑦
- 普通教室の数を15室から28室（児童生徒数約50名→90名）に拡大、新たに高等部を設置 ⑨
- 職業教育（陶芸、被服、作業等）のための特別教室、屋内運動場の新設 ⑩⑪